



調布市は市制施行70周年

市報

ちようふ



令和7年(2025年)
No.1803

11 / 20

CONTENTS(主な内容)

令和6年度の決算状況	3
戦争体験手記や資料など提供のお願い	4
市民課業務窓口の見直し	4
特殊詐欺の約8割が国際電話から	12

ようへき
擁壁やがけがある

あなたの家の周りは大丈夫?

台風や集中豪雨などによる土砂災害を未然に防ぐため、家の周りの擁壁やがけの点検をしましょう。

□ CHECK!

二段擁壁になっていませんか
※擁壁が上下二段に分かれて構造が異なるもの

□ CHECK!

樹木の根や、ツタなどが擁壁に
悪い影響を与えていませんか

□ CHECK!

擁壁から水がしみ出ている
ところはありませんか

□ CHECK!

擁壁に膨らみは見られませんか

□ CHECK!

擁壁上部から水が
しみ出していないですか

□ CHECK!

目地に沿った亀裂は
見られませんか

□ CHECK!

水抜き穴はありますか

□ CHECK!

擁壁に亀裂が入っている
ところはありませんか

□ CHECK!

地盤沈下は起こって
いませんか



うちは
どうだろう?



専門家に相談して
みませんか?(無料)

ご自宅に擁壁やがけがある方が、擁壁などの
状況把握や今後の対策などの検討を相談できる
よう、市が無料で専門家を派遣します。

擁壁などについて心配なことがある方は、ぜひ
ご利用ください。

詳細は2面をご覧ください →

手をつなぐ樹 475



人生の小春

厳しい冬の寒さが到来する直前に、どうして春のような穏やかな暖かさにつつまれる日々が存在するのだろうか。私は、自分の誕生日の時期であることに多少の思い入れがあることも自覚しつつ、毎年小春のころの心地よい気候に身を委ねることを無上の楽しみとしている。

ただし、そのような思いは必ずしも若いころからのものではない。年齢を重ねるにしたがって徐々に感じるようになってきたものだ。そして今、何の変哲もない小春日和のもとでのそぞろ歩きの際に、やはり心の安寧あつてこそその人生だなあと至極当然のことにしみじみと感じ入ったりする。それをわが世の黄昏の心境かなどと揶揄されれば確かにそうかもしれないと認めるにやぶさかでない。だが、いずれにしても恵まれた天候のもとでの散策が、長年の身過ぎ世過ぎで疲弊した心身に深く染み入る癒しをもたらしてくれることは本当に有難い。

異常な猛暑に見舞われた今年には例外だが、本来日本では緯度に恵まれて四季が鮮明であり季節の移り変わりがはっきり実感できるがゆえに、その変化はとくに人の一生にもたとえられる。ならば、誕生から成長期を春、情熱的な青春を夏、落ち着いた充実期を秋、淡々と来し方を振り返る時期を冬とすれば、小春はどのような位置づけになるだろうか。

このうえなくうらかな日和に至福を感じながら、短い期間なるがゆえのその貴重さを人生になぞらえてみたりもしている。

調布市長

長友貴樹



◀配布中止
連絡フォーム

市報ちようふは、
市HPでもご覧いただけます

